



ニッサン セレナ
スズキ ランディ

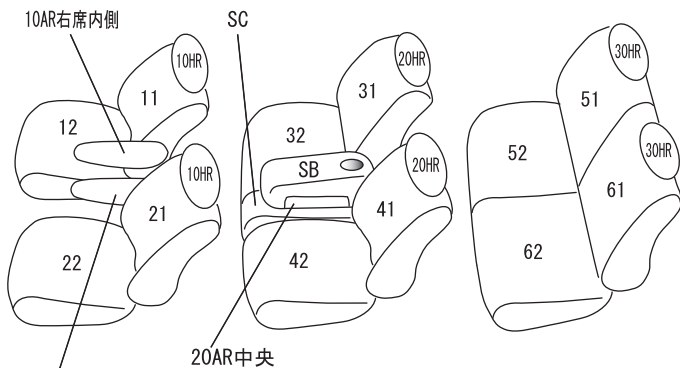
専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

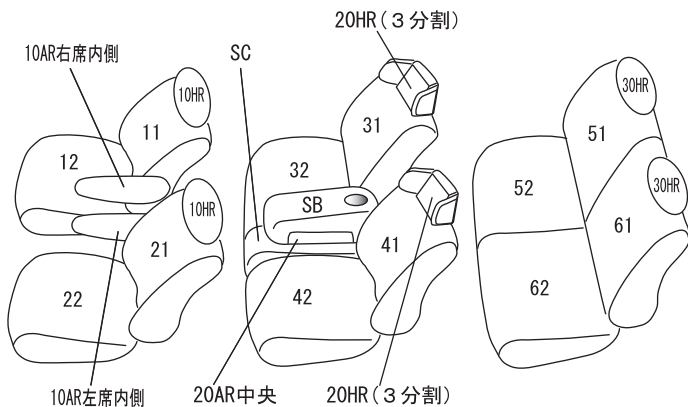
- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

0575/0576/0578/0579

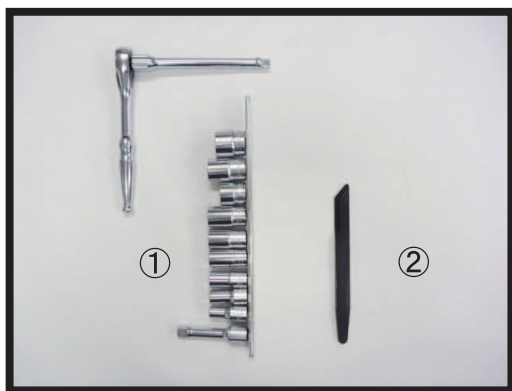
本製品シート形状とパーツの名称



10AR左席内側 (※0578は助手席アームレストが無い為カバーがありません)



取付必要工具



工具名

- ① ソケットレンチセット
 - ・アームレスト用：14mm
 - ・パーソナルテーブル用：8mm
 ※パーソナルテーブル付き車のみ必要
- ② ヘラ (付属)

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがありません。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または輸送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された先までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグ対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）
その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月）現在弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地が硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いかねますことをご理解いただきたく存じます。

「快適 空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

1 列目座面



①シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



④プラフックは、生地と共に180度折り返し、固定したい場所に下から上へ引っ掛けるようにします。
※図は、固定したい場所を仮に表しています。



②カバー前側にプラフックが付いています。



⑤シートの前側から底面を見ると、図のようにシート本体の生地がプラフックで固定されています。



③ここからは、分かりやすいように断面図で説明します。



⑥⑤で確認したシート本体に固定されているプラフックの上から、カバーのプラフックを固定します。



⑦ プラックを正しく固定すると、このようになります。



⑩ カバーの側面をシートのラインに合わせて合わせます。



⑧ シートのラインに合うように、カバーの位置を合わせ、背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑪ シートのプラスチック部に、カバーの生地を入れ込みます。



⑨ 入れ込んだ生地を後ろ側から引き出し、生地に付いているマジックテープでシートに直接固定します。



⑫ 図の位置の生地は、シートの側面から底面にかけて、入れ込みます。

1列目背もたれ

※アームレストを取り外す必要があります。



⑬正しく側面に生地を入れ込むと、このようになります。



⑭カバー装着前にアームレストを取り外します。
ヘラ等を使用し、プラスチックキャップを取り外します。



⑮内側面にも同様に生地を入れ込みます。



⑯ラチェット等を使用し、ボルトを外します。

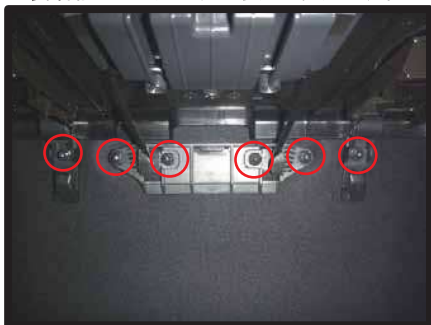


⑰カバーのラインを整え、1列目運転席側座面の完成です。
助手席側も一部形状が異なりますが同様に取付けます。



⑱ボルトを外すと、図のようにアームレストが取り外せます。

※パーソナルテーブル装着車は、カバー装着前に取り外す必要があります。



④背もたれ背面のパーソナルテーブルを引き起こすと、図のようにナットで固定されている事が分かります。



⑦カバーを半分ほど裏返した状態でシートにかぶせます。この際、肩口までしっかり入れ込むようにして下さい。



⑤ラチェット等を使用し、全てのナットを外します。



⑧シートのラインに合わせ、カバーをかぶせます。



⑥ナットを外すと図のように、手前に引き抜く事でパーソナルテーブルが取り外せます。



⑨ヘッドレストの台座部分をカバーの加工穴から取り出します。生地伸びを利用して横から潜り込ませるように取り出します。



⑩背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑬⑪で引き出した生地とカバー背面の生地をマジックテープで固定します。



⑪入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



⑭カバーの背面に付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。



⑫図の①～③の順番で生地をシートに馴染ませ、カバーのシワを無くしていきます。



⑮S字フックは、シート裏の金属部分に引っ掛け固定します。



⑯カバーのラインを整え、1列目運転席側背もれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。



⑱⑯の○位置は、ネジ部から15mm下になるようにして下さい。



⑰4ページ⑥でパーソナルテーブルを取り外し、カバーを装着後、パーソナルテーブル取り付け位置にカバーの上から目印を付けます。(計6ヶ所)



⑳取り外した逆の手順で、パーソナルテーブルを元に戻します。
⑲で開けた穴は、○部分の裏にある突起物の固定に必要な穴です。



⑳図のように、全ての目印位置にハサミ等を使用し、ネジ部がカバーから取り出せる大きさの穴を開けます。外側の2ヶ所の下側(図の○位置)にも同じく穴を開けます。



㉑パーソナルテーブルを正しく取り付けると、このようになります。

2 列目座面



①シートのラインに合わせて、カバーを前側からかぶせます。



④カバーの加工穴からシート跳ね上げ用ストラップを取り出します。



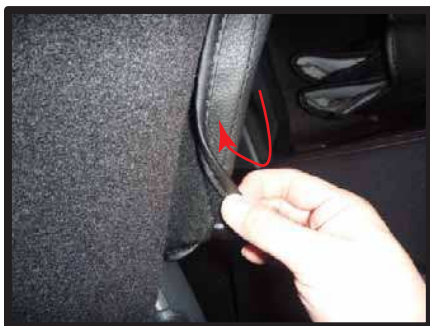
②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑤シートを跳ね上げ、カバーをマジックテープで直接シートに固定します。



③入れ込んだ生地をシート裏側へ巻き込むようにし、マジックテープで直接シートに固定します。



⑥内側面の生地は、シートに巻き付けるように固定します。



⑦シートの付け根位置の生地を、図のように隙間に入れ込みます。



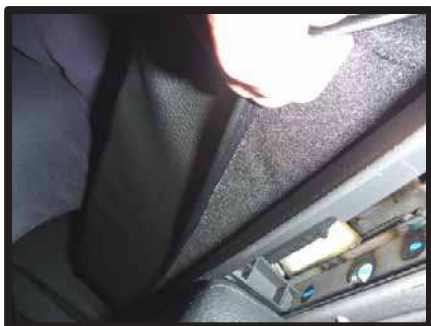
⑩内側面の生地をシートのプラスチック部の隙間に入れ込みます。



⑧カバーのラインを整え、2列目運転席側座面の完成です。



⑪外側面の生地も同様にプラスチック部の隙間に入れ込みます。
※隙間が広い為、奥までしっかり生地を入れ込んでください。



⑨助手席側座面の固定は、7ページ①～③までは同様に取り付けます。前側の生地をシートに直接マジックテープで固定します。



⑫カバーのラインを整え、2列目助手席側座面の完成です。

2列目背もたれ



①始めに背もたれカバー背面のファスナーを開きます。

※2列目背もたれにもパーソナルテーブルがある車は、カバー装着前に1列目と同様に取り外して下さい。



④シートのラインに合わせて、カバーを引き下げます。



②中央席シートベルトの内側を通してシートにカバーをかぶせます。



⑤カバー背面のファスナーを、生地を内へ寄せるようにしながら閉じます。



③シート肩口にあるストラップを、カバーの加工穴から取り出します。



⑥シートベルトの台座に生地を入れ込みます。



⑦図のようにシートベルトの台座の間には、台座を固定するツメがある為、生地が入れ込みにくくなっています。生地は台座の四隅に入れ込める程度になります。



⑩肩口のストラップは、図のようにカバーの加工穴を通し、シート本体のストラップ収納部に収納します。



⑧ヘッドレストの台座を1列目と同様に取り出します。



⑪背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑨シート肩口のストラップの台座を、ヘッドレストの台座と同様に取り出します。



⑫入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



⑬ 10ページ⑫で引き出した生地を、カバー背面の生地とマジックテープで固定します。



⑭ カバーのラインを整え、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側は一部形状が異なりますが同様に取り付けます。



⑮ 背もたれ背面は、このようになります。



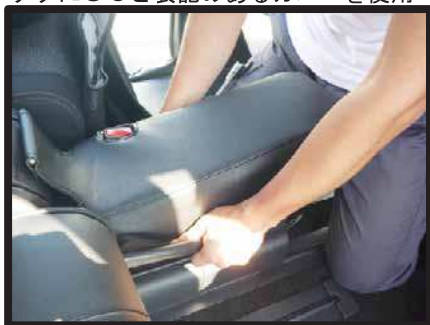
⑯ 2列目背もたれにもパーソナルテーブルがある車は、1列目と同様にカバーを加工し、取り付けて下さい。



⑰ 背もたれと座面の付け根に生地を入れ込みます。

2列目補助席座面

タグにS Cと表記のあるカバーを使用



①シートラインに合わせ、カバーを前側からかぶせます。



④助手席側側面の生地をプラスチック部の隙間に入れ込みます。



②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑤運転席側側面の生地はシートの裏側へ巻き付けるようにし、プラフックで直接シートに固定します。



③入れ込んだ生地は、図の○で囲んだプラスチック部の隙間に入れ込みます。

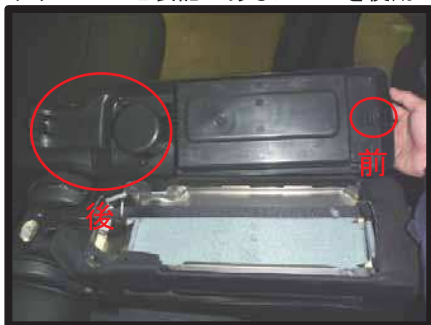


⑥カバーのラインを整え、2列目補助席座面の完成です。

※図は後ろ側から撮影したものです。— 1 2 —

2列目補助席背もたれ

タグにS Bと表記のあるカバーを使用



①補助席背もたれにカバーを装着する際は、背面のテーブル部分を取り外す必要があります。図はテーブル部分を取り外した状態です。テーブルは前後のツメで固定されています。



②前側のツメの拡大図です。図のように前側のツメは、斜め方向に付いている為、取り外す際は、テーブルを前方向にずらすようにする必要があります。



③後ろ側のツメの拡大図です。後ろ側は、図の3ヶ所にツメがあり、こちらのツメは、取り外す際、真上に引き上げるようにします。



④後ろ側のツメ（図の○部）の矢印位置からテーブル部を持ち上げるようにしながらツメを外していきます。前側のツメは、テーブルを前方向にずらすようにすると外れます。



⑤シートにカバーをかぶせます。カバーは、少しきつめに作られていますので、シートのラインに合わせて慎重にかぶせて下さい。



⑥カバー背面はこのようになります。



⑦図のようにカバーの加工穴から、アームレストを通します。



⑩カバー背面のプラフックが付いている生地を固定します。



⑧カバー上側の加工穴からは、シートリクライニング用ストラップを取り出します。



⑪プラフック固定後に、図の○部に生地がかぶらないようにして下さい。



⑨アームレスト下側に生地を入れ込みます。



⑫背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑬テーブルを戻す際は、前側のツメから戻します。カバー前側の加工穴にツメを引っ掛ける場所があります。



⑭正しいツメ位置であることを確認し、テーブル部を矢印方向へずらし、ツメを固定します。

※テーブル部を上から押し付けるようにすると、ツメが破損する恐れがありますので注意して下さい。



⑮図のように、ツメを斜めに引っ掛けるようにします。



⑯図の○位置に浮きがある場合は、ツメが正しく引っ掛かっていませんので、再度テーブルを付け直して下さい。



⑰ツメを引っ掛けます。ツメの位置を意識し、図の矢印方向にツメが引っ掛かるように慎重に作業を行って下さい。



⑱14ページ⑫で入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



⑱引き出した生地加工穴が、図のようにテーブル部のツメ位置にくるようにします。



⑳側面の生地がテーブル部分からはみ出している場合は、ヘラ等を使用し隙間に入れ込みます。



㉑後ろ側のツメを固定します。
固定の際は、ツメ位置を合わせ、上から押さえ付ける様にして下さい。



㉒カバーのラインを整え、2列目補助席背もたれの完成です。



㉓後ろ側のツメが正しく固定されるとこのようになります。

3 列目座面



①シートラインに合わせ、カバーを前側からかぶせます。



④シートを跳ね上げ、カバーの加工穴からシート吊り下げ用フックを取り出します。



②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑤シートを跳ね上げた状態で、内側側面の生地をシート後ろ側へマジックテープで直接固定します。



③外側面の生地をマジックテープでシートに直接固定します。



⑥②で入れ込んだ生地を後ろ側から引き出し、シート底面を覆う生地とマジックテープで固定します。



⑦17ページ⑥の生地を正しく固定すると、このようになります。



⑧カバー後ろ側は、このようになります。図の○位置の加工穴に、シート吊り下げ用フックを収納します。



⑨カバーのラインを整え、3列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

3列目背もたれ



① 3列目背もたれは、1列目と同様にカバーをかぶせ、背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



④ 正しく固定すると、このようになります。



② 入れ込んだ生地を後ろ側から引き出し、背面の生地とプラフックで固定します。



⑤ カバーのラインを整え、3列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。



③ 図はプラフック部の断面図です。右側の平らな形状の方を、生地ごと巻き込みながら、カギ状の方に引っ掛け固定します。

ヘッドレスト



① 1列目ヘッドレストにカバーを半分ほど裏返した状態でかぶせます。カギ状のプラスチックパーツが付いている方が前側になります。

※カバーをかぶせる際には、カバーに付いているマジックテープに力が掛かり過ぎると、破れる恐れがありますので注意して下さい。



②ヘッドレストを台座から外し、カバーに付いているマジックテープとプラフックで固定します。



③ヘッドレストを台座に戻し、カバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。



④ 2列目ヘッドレストも同様に取付けます。

※リラックスモード付ヘッドレストは21ページ参照



⑤ 3列目ヘッドレストは、平らなプラスチックパーツが付いている方が前側になります。



⑥ 1、2列目と同様にカバーを固定し3列目ヘッドレストの完成です。

2列目ヘッドレスト

※リラックスモード付ヘッドレスト



①ヘッドレスト中央にカバーをかぶせます。平らなプラスチックパーツが付いている方が前側になります。



④ヘッドレスト両端のカバーは、図のようにカバー側面の縫い目（矢印）が寄っている方が前側になります。



②ラインを合わせながら、カバーを引き下げます。



⑤カバーは内側にある加工穴から、ヘッドレストにかぶせます。



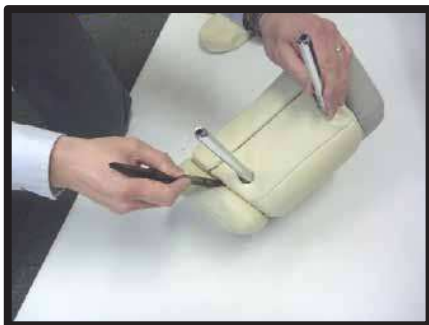
③カバー底面をプラフックで固定すると、このようになります。



⑥カバーをヘッドレストの先端までしっかり入れ込みます。



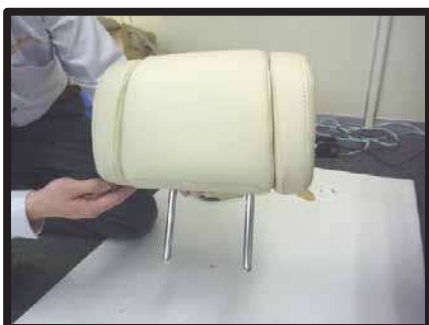
⑦カバーのラインを整えます。



⑩生地が入れ込みにくい箇所は、ヘラ等を使用して下さい。



⑧ヘッドレストの内側へカバーを巻き込むようにします。



⑪2列目リラックスモード付ヘッドレストの完成です。



⑨カバー全体の生地を内側へ入れ込みます。



⑫ヘッドレスト両端を下げると、このようになります。

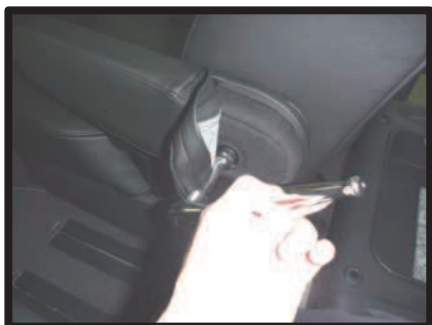
1 列目アームレスト



- ① 3 ページ①で取り外したアームレストにカバーをかぶせます。カバーを半分ほど裏返した状態で先端までしっかり入れ込んで下さい。



- ④カバーのラインを整え、1 列目アームレストの完成です。助手席側にアームレストがある車は同様に取り付けます。



- ②取り外した逆の手順でアームレストを元に戻します。

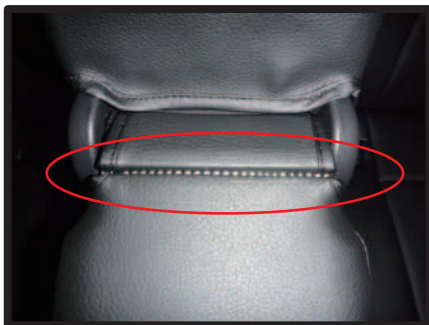


- ③カバーの生地を内に寄せながら、ファスナーを閉じます。

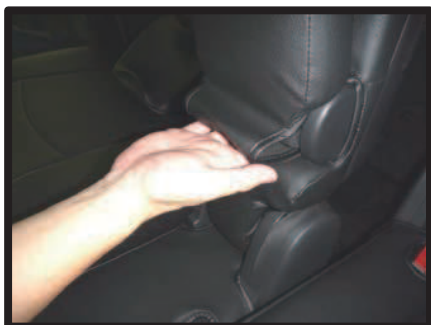
2列目アームレスト



① 2列目アームレストにカバーをかぶせませす。平らなプラスチックパーツが付いている方が前側になります。アームレストの先端までしっかり入れ込んで下さい。



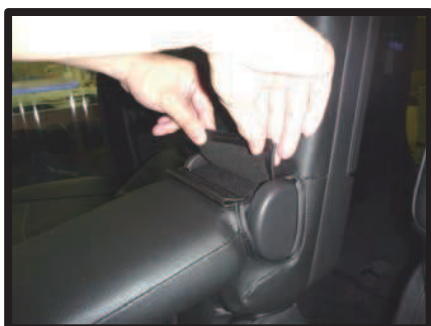
④ カバーをブラフックで固定します。



② アームレストの下側に生地を入れ込みます。



⑤ カバーのラインを整え、2列目アームレストの完成です。



③ 入れ込んだ生地をアームレスト上側から引き出します。

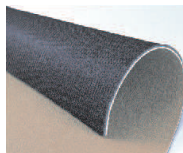


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…→ 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。

